

令和6年度 和歌山市立湊小学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 川崎 ゆき

作成日 令和6年4月1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

【学 校 教 育 目 標】

人間性豊かで、たくましい子どもの育成

【めざす児童像】

- ・豊かな心を持ち、明るくのびのびした子
- ・仲良くし、助け合う子
- ・みんなで汗を流し、つくり出す子
- ・健康でたくましい子
- ・よく考え進んで学習に打ち込む子

前年度の学校評価

- わかりやすい授業実践に努力している
- 学校・家庭・地域との協力体制が強まった
- 引き続きいじめの未然防止・早期発見解決に向けて取り組んでもらいたい

児童（生徒）の実態

- あいさつができる
- 思いやりの心をもって行動できる
- 最後まで粘り強く取り組む力がやや弱い
- 自学・自習の力がやや弱い

保護者・地域の願い

- 明るく仲の良い楽しい学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかる子供に育ててほしい
- 地域に誇りをもってほしい

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の定着
- ◎自分の考えを書く・話す・話し合う力の育成
- ◎家庭学習・補充学習の充実

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎縦割り活動等を活かした思いやりの心の醸成や挨拶の励行

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危険回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎学校・家庭・地域との連携・協力の維持
- ◎学校運営協議会の推進と活用
- ◎地域の資源活用の推進

具体的な取組

- 学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る。
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う。
- 考えを書く・話す・話し合う活動を授業に積極的に取り入れる。
- 家庭学習の手引きを配付し家庭学習の定着を図る。自主学習に取り組ませる。
- 読み聞かせ、家庭読書を推進する。
- 放課後補充学習を実施する。

- 道徳科の授業の充実を図る。
- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。
- いじめをなくす学級づくりについて保護者へ発信していく。
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ。
- 児童会での縦割り班活動、学年集会、学級会等で、子供同士が関わり合う機会を増やす。

- 休憩時間の外遊びの励行や、体育的行事を充実させ、体力の向上を図る。
- 本校独自の取組「どらどら貯金」を実施し、「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危険回避能力を育成する。

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する。
- 地域活動へ参加し、積極的な交流を推進し、多様な生き方を学ぶ。
- 幼小の接続、中学校区での幼小、小中の連携を推進・充実する。
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。

指標

- ・全国並びに県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る
- ・毎日の授業がわかる（児童90%）

- ・学校が楽しいと感じる（児童90%）
- ・友達と仲良くしている（児童90%）
- ・命の大切さを教えてもらっている（児童100%）
- ・いじめの解消率100%

- ・朝ごはんを食べた（児童100%）
- ・体力テストの結果が全国平均と同等となる。

- ・学校の様子がよく伝わった（保護者90%）
- ・幼稚園、中学校区で接続、連携した取組を実践できた（教師90%）

◎：特に重点的に取り組むこと